

富士河口湖町立 教育センターだより

No. 9

令和2年8月12日
文責 渡辺 富美夫



1学期を終えて

学校では、7月31日をもって1学期が終わりました。今年は新型コロナの関係で通常とは大きく違う1学期となってしまいました。新年度が始まってすぐの休校で新しい流れに乗るのも大変でした。さらに、再開後も感染拡大防止のために制限が多くある中での学校生活で、誰もが本当に大変です。しかし、子どもたちは、そんな中でも授業や様々な活動を通して多くの体験をし、成長しました。

町立教育センターでも研究会や体験プログラムの一部が中止となってしまいましたが、工夫しながら活動してきました。保育所、小中学校、さらには、保護者や多くの関係機関のご支援とご協力をいただきましたこと、感謝いたします。

教育センターでは、派遣は減り、教育相談は昨年よりいずれも増えています。

大切な 小さな一歩 町立教育センター 教育相談活動

センターの主な活動の1つとして教育相談があります。「学校に行けない子どもたちの居場所」「再登校に向けエネルギーを充填する場」「進級進学に向け学力を保証する場」としての役割を果たしてきています。

現在は、数名が来室しています。主な活動は、教科の学習、絵・パズル・手芸などの創作活動、DVD鑑賞や卓球・バドミントンなどの体育活動、校外学習などそれぞれの子どもたちにとってパワーを蓄えられる充実した時間を考えています。また、交流活動として、来室している子どもたちが一緒に活動する場面も作っています。今年度は、

「たこ焼きパーティー」「ハニートースト作り」などをしました。役割を分担したり、協力し合って作ったものを食べながら、いろいろな話をしてゆったりとした時間を過ごしました。また、花壇の一角をお借りして、野菜作りもしています。子どもたちと相談して、キュウリ、トマト、ブロッコリー、サツマイモ、小玉スイカ、カボチャを作っています。夏以降の収穫とその作物を使った料理作りが楽しみです。今年新たに別の花壇をお借りし、百日草、ヒマワリ、グラジオラスなども育て、夏になり見ごろを迎えています。

このような活動を通して、少しでも教育センターの役割が果たせるよう努めています。また、担任、養護教諭、管理職の先生などとも話をする機会を持ち、連携を密に取っています。在籍学校の先生方がセンターに来て指導もしてくださっています。さらには、SSW（スクールソーシャルワーカー）、スクールカウンセラー、町の子育て支援課などとも連携をとっています。特に、SSWの古屋麻里先生には何度も来室していただき、子どもたちにセンターとは違ったアプローチをしていただくなどして連携した相談活動を行っています。

このように活動を通して、少しでも教育センターの役割が果たせるよう努めています。また、担任、養護教諭、管理職の先生などとも話をする機会を持ち、連携を密に取っています。在籍学校の先生方がセンターに来て指導もしてくださっています。さらには、SSW（スクールソーシャルワーカー）、スクールカウンセラー、町の子育て支援課などとも連携をとっています。特に、SSWの古屋麻里先生には何度も来室していただき、子どもたちにセンターとは違ったアプローチをしていただくなどして連携した相談活動を行っています。

このように活動を通して、少しでも教育センターの役割が果たせるよう努めています。また、担任、養護教諭、管理職の先生などとも話をする機会を持ち、連携を密に取っています。在籍学校の先生方がセンターに来て指導もしてくださっています。さらには、SSW（スクールソーシャルワーカー）、スクールカウンセラー、町の子育て支援課などとも連携をとっています。特に、SSWの古屋麻里先生には何度も来室していただき、子どもたちにセンターとは違ったアプローチをしていただくなどして連携した相談活動を行っています。

教員の派遣

依頼13件の内5件
相談 電話相談 6件
来所 299件
訪問 10件
(いずれも、延べ件数)



たこ焼きパーティー



ひまわり、百日草満開



竣工式 8/11

船津小学校新校舎完成



船津小学校新校舎が完成し、7月26日から子どもたちは新校舎で学び始めました。ピッカピカで広々とした教室やフロアに子どもたちはとても感激していました。

